

長崎県統計課キャラクター 杉さん の紹介

【コンセプト】

統計調査を特に若年層にPRする
ために親しみやすいキャラクター！

長崎出身である日本近代統計の祖
杉亨二(すぎこうじ)氏(次のページで紹介)を
モチーフ！

国勢調査だけでなく、統計調査全ての
広報キャラクターとして活用！

タスキやハチマキで調査ごとにPR！

統計調査(国勢調査)の歴史を感じる
和服のデザイン！

みんなの疑問を統計を使って解決する
ことが大好きなおじいちゃん！



晩年の杉亨二氏の特徴である 白髪 に
白い髭 と 大きな耳

おおきな目
一度に複数のデータを見ることができ、
統計・分析に長けている。

杉亨二氏の活躍した時代に着ていた
羽織袴(はおりはかま)を着用。
羽織は、長崎県の色 あお

袴上部
長崎県産品である ミルクセーキ をイメージ

袴下部
県民鳥の オシドリ、県民獣 九州シカの色を
イメージ

日本近代統計の祖 杉亨二(すぎこうじ) 氏 について学ぼう!



杉亨二氏 について詳しく教えてください。

杉亨二氏は、日本の官庁統計の創設、普及に貢献した“近代統計の祖”と言われている長崎出身の方なんです。1828年8月2日長崎市の本籠町で生まれました。



すごいですね!長崎で統計をひろめたのですか?

江戸に出た後、勝海舟(かつかいしゅう)の私塾長を、その後開成所(今の東京大学)の教授を務めました。明治になると、徳川家といっしょに駿河国に移り住み、そこで統計調査をやろうとしました。



歴史上の人物が出てきますね。ずっと駿河にいたのですか?

その後、東京で明治政府の重要な役職(今の総務省統計局長)を任せられ、日本初の統計書「日本政表」(今の日本統計年鑑)をつくりました。1879年には「甲斐国現在人別調」という国勢調査の試験調査を行いました。晩年の杉氏は、国勢調査実現の為に力を尽くしますが、残念ながら国勢調査の実施を見ることはかなわず、1917年12月4日に亡くなりました。第一回国勢調査は、その3年後の1920年に実施され、日本の近代統計調査の幕開けとなりました。



すごい人が「長崎」出身なんです!杉亨二氏 についてよくわかりました!